

Well-Being指標の活用 「地域の幸福のシナリオ」検討ワークショップについて

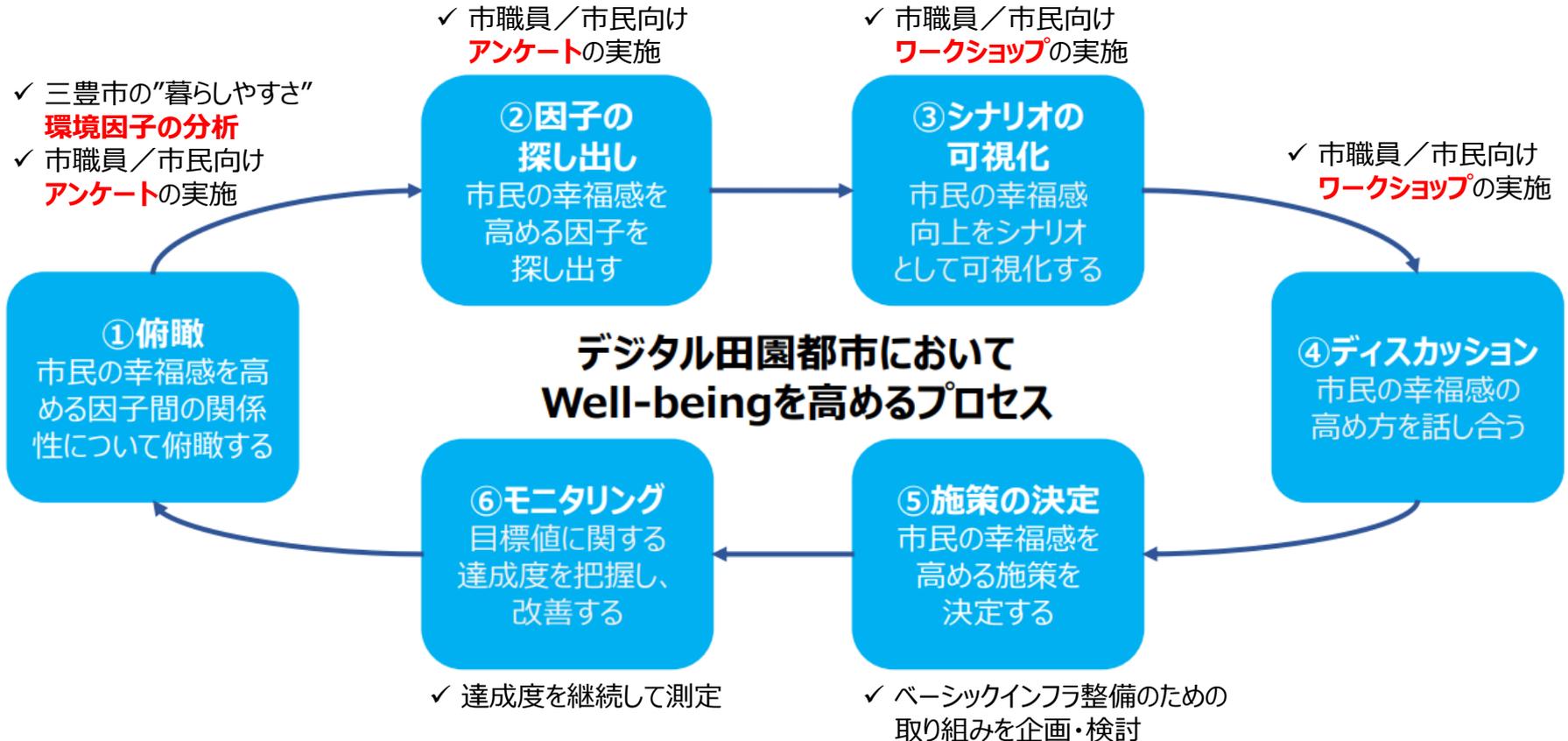


2023年7月10日

香川県三豊市 政策部地域戦略課

Well-Beingを高めるプロセスと令和4年度の取り組み

慶応大学前野研究室と連携し、LWC指標活用フローに沿ってアンケートやワークショップを実施

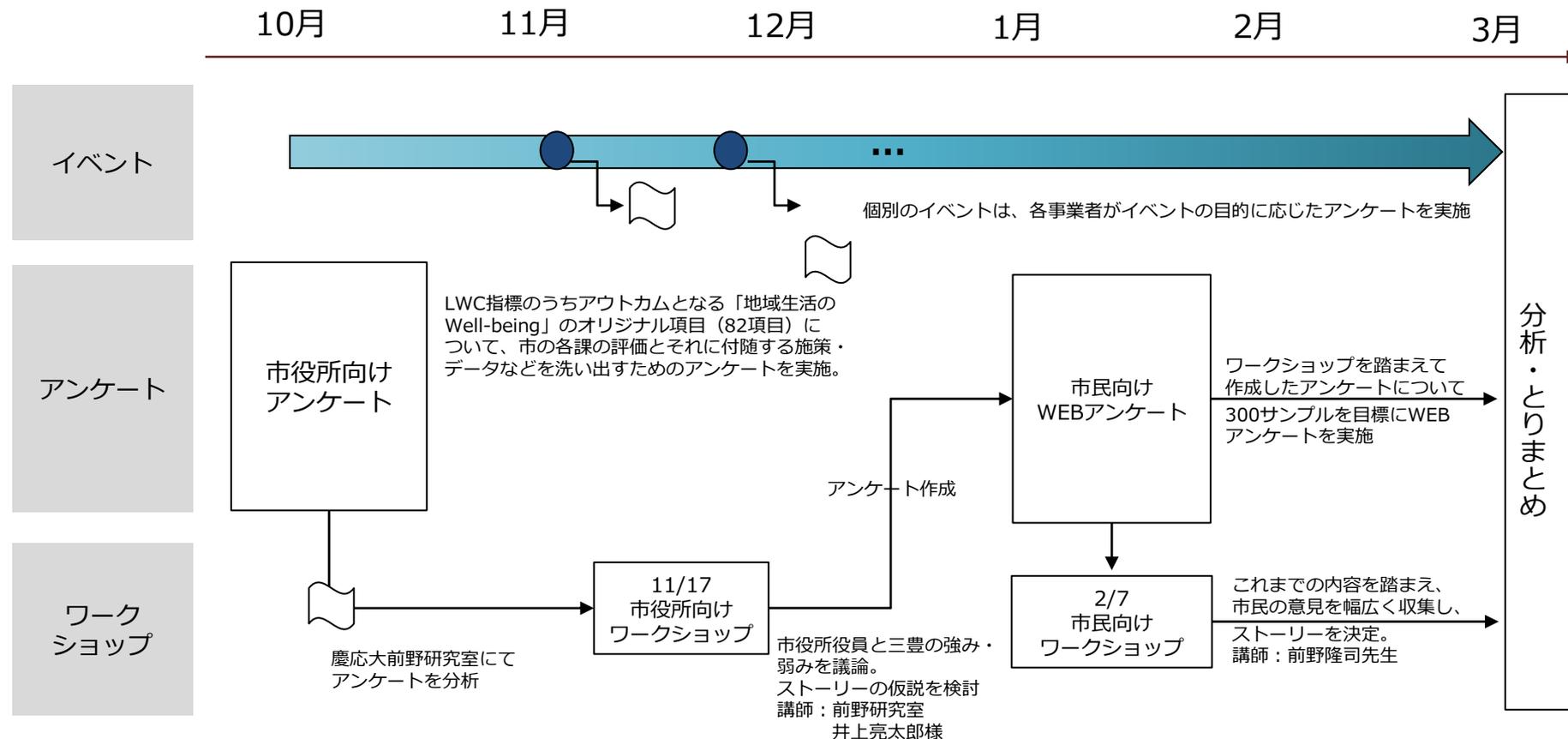


出典：デジタル庁「LWC指標活用ガイドブック」

LWC指標による評価実施項目とスケジュール



■市役所職員向け・市民向けに幸福度向上に関するストーリーを検討するためのワークショップを行いながら、LWC指標によるアンケートを実施



三豊市の“暮らしやすさ”環境因子の分析



■ LWC“暮らしやすさ”環境指標データや自治体保有データを活用し、地域の特徴を俯瞰

三豊市の環境因子



【医療・健康】

- ・高度の緊急医療体制が整った医療機関が無い。三豊市で発生した急搬患者の内、55.1%が観音寺市に搬送。市内病院への搬送は23.8%に留まっている（H27三観広域消防本部救急搬送実績）。
- ・大きな病気・怪我になると市外病院に行かなければならない。
- ・常設の小児科・産婦人科とも、三豊市は0。
- ・現在の住民のスポーツニーズと施設のアマッチ（もしかすると気軽なジムのようなものを求めているのに、団体競技で調整が必要な施設ばかり）

・運動施設の老朽化

- 【買い物・飲食】近年、飲食店の創業は増えてきているが、他市と比べると数はまだ少ない

- 【移動・交通】既存の公共交通網が他市と比較してやや劣っている。

- 【環境共生】環境に配慮したごみ処理

- 【子育て・教育】・待機児童0人

- ・ここ数年で増加した私立保育園8箇所（小規模5、私立保育園1、こども園2）

- ・大学、短期大学が少ない。
- ・部活動にいくための交通手段が乏しい。

【事業創造】

- ・瀬戸内ビレッジなど民間の取り組みがあるものの、創業・事業創造に特化した政策展開を実施出来ていないため、他市と差が出るような数値の伸びは出ていない。

- ・三豊観音寺の有効求人倍率 = 1.5倍（R4.6月）。本エリアの求人倍率は全国比非常に高い数値を維持し続けており、企業側から見ると慢性的な人不足が続いている。職種により偏りが大きいいため、【地域で「自分がやりたい仕事」を見つけにくい】というのが実態だと思う。

三豊市の“暮らしやすさ”環境因子の分析



■ 客観指標の深掘り(近隣他市比較、指数・評点と実施施策等との紐付け)

評価項目Level1	指数 三豊市	指数 近隣A市	指数 近隣B市	評価項目Level2	指数	評点	想定される理由(担当所感)
住宅環境	65.7	62.1	52.4	1 住宅当たり延べ面積	75.84000462	8	<ul style="list-style-type: none"> ・地価・家賃は安く、一戸建て持ち家の割合・1住宅当たり延べ面積も比較的高いため住宅取得環境は整っている ・新築住宅取得を促進するための施策も実施 ・近隣B市と比較すると住宅取得環境は恵まれている 【施策】若者新築住宅補助(40歳未満に100万円補助:77件 77,000千円)等
				平均住宅地価	55.1420827	8.5	
				専用住宅面積あたり家賃	60.59469957	9	
				一戸建ての持ち家の割合	71.11776116	9.5	
文化・芸術	63.7	56.5	49.6	芸術家・著述家等の割合		4	<ul style="list-style-type: none"> ・評価項目がハードの数に偏っており、旧7町が合併してから統合が進んでおらず、多くのハードが点在していることが指標が高くなっていることの要因だと考えられる。 近隣他市と比較しても非常に高い指標 ・一方で、老朽化した施設が多いことが住民の満足度に直結しているかは疑問。客観KPIだけでは判断できる項目ではない。現時点で未開示である、ソフト事業が評点に直結する「精神的健康に関する主観KPI」(面白い人・魅力的な人が住んでいる、街の歴史・伝統などに関わる文化資源が豊富、図書館や公民館など文化施設が充実している、生涯学習プログラムが充実している)と併せて評価したい項目 【施策】文化財保護事業、三豊市公民館活動推進事業、図書館管理運営事業、各施設運営事業等
				人口あたり図書館の数	95.80200634	4.5	
				人口あたり博物館等の数	64.7173644	5	
				人口あたり劇場・音楽堂の数	52.56707913	5.5	
				国宝・重要文化財(建造物)の数	47.91361336	6	
				日本遺産の数	57.39670348	6.5	
環境共生	62.7	49.0	53.6	非可住地面積割合	51.96866152	15.5	<ul style="list-style-type: none"> ・市の施策として、焼却炉を新規建設しない、下水処理場を持たないという条件のもと、燃やさない・排水が出ない・臭気が出ない環境に強く配慮したごみ処理を行っているおり、近隣他市と比較しても非常に高い指標 ・家庭でのごみ減量化としてダンボールコンポスト材料を支給し排出抑制と処理コスト削減を目指している ・燃やせるごみは、バイオマス資源化センターみとよに搬入。民設民営で平成29年4月から導入した、日本初となる焼却処理を行わない「トンネルコンポスト方式」で、搬入されたごみを資源化(固形燃料化)している ・石炭が固形燃料に変わること約6,800トンのCO2が削減でき、新施設で排出されるCO2(約4,900トン)を差し引いても、年間約6,500トンのCO2を削減することができている 【施策】塵芥処理事業、バイオマス資源化センター事業等
				人口あたり年間CO2排出量	47.3026351	16	
				ごみのリサイクル率	100.4255947	16.5	
				環境共生指数	51.07980904	17	

市職員向けアンケートの実施



LWC指標「地域生活のWell-Being」のオリジナル項目(82項目)について、市の各課の評価とそれに付随する施策・データを洗い出すためのアンケートを実施

各課の評価 ※一部抜粋

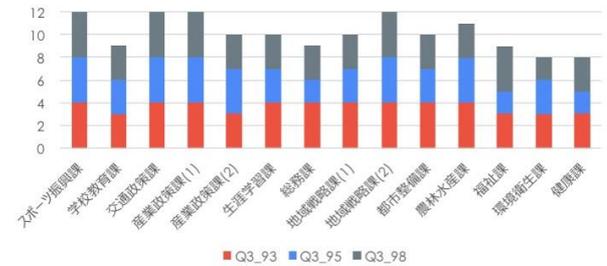
市役所全体の評価



「自然の体感」「居住空間の快適さ」「つながりと感謝」のスコアが特に高い

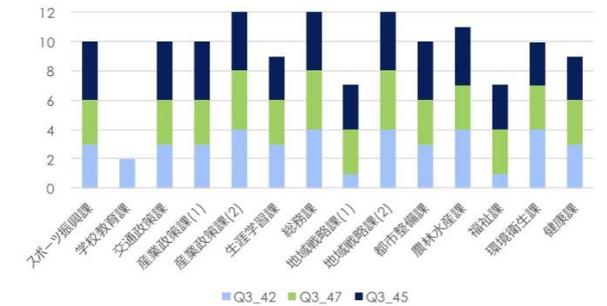
* F3とF8は反転していないため低い方が良好

F4 自然の体感



Q3_93 暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる
 Q3_95 暮らしている地域には、自然と向き合う喜びがある
 Q3_96 暮らしている地域の空気や水は澄んでいてきれいだと感じる

F5 居住空間の快適さ



Q3_42 自宅の間取りは、使い勝手がよく快適である
 Q3_47 自宅の外観（庭等を含む）には満足している
 Q3_45 自宅には、心地のいい居場所がある



■市職員・市民向けワークショップの流れ

内容	<p>1) はじめに (5分) (事務局)</p> <p>2) ウェルビーイングとは (10分) 地域生活のWell-being指標を含めた、幸福学・ウェルビーイングについて井上先生からご講演。 (講師：慶応大学 前野研究室 井上亮太郎氏)</p> <p>3) 市民向けアンケート結果のご説明 (20分) 市民向けに実施したアンケートの結果（もしくは市役所向けアンケート・ワークショップ結果）を共有。（講師：慶応大学 前野研究室 井上亮太郎氏）</p> <p>4) ワークショップ (1時間) アンケート結果を踏まえ設定したテーマごとに、幸福のシナリオを検討する。 1グループ6～7人となり、模造紙・ポストイットなどを活用して、三豊市民が幸福に至るシナリオを検討する。グループで検討した結果を代表者が2～3分で共有いただく。</p>
-----------	--

「地域の幸福のシナリオ」検討ワークショップ



■市職員・市民向けワークショップの流れ

自己紹介	①まずはグループ内で自己紹介をお願いします。（5分程度）
グループディスカッション	②アンケート結果について、まずはなぜ凸凹がある結果となっているのか、その要因についてグループ内で話し合ってください。（10分程度）
個人ワーク	③グループ内で話したことを踏まえて、三豊市のウェルビーイングに重要な要素を個人作業で書き出してください。（10分程度）
グループ共有	④書き出した付箋をグループ内で発表し、10つの因子にグループ分けしてください。（10分程度）
休憩	
グループディスカッション	⑤どの因子が重要か、グループ内で議論してください。（10分程度）
個人ワーク	⑥その因子を向上させるにはどのようなことが必要か、別の色の付箋で書き出してください。（10分程度）
グループ共有発表準備	⑦グループ内で共有して、発表内容を整理してください。（10分程度）
全体共有	⑧グループで検討した結果を代表者が参加者の皆さんに共有してください。質問があればお願いします。（5分×グループの数）
振り返り	⑨別の色の付箋で気づいたこと・ご意見などを書き出してください。（5分程度）

「地域の幸福のシナリオ」検討ワークショップ



■一市民として「三豊の暮らしをもっと良くするにはどうあればいいか」を問い、プレストを実施



ウェルビーイングについてのレクチャー（井上講師）



各因子の具体例をプレスト&集約



幸福に至るシナリオをグループ内で議論



各グループによる議論の結果の共有

「地域の幸福のシナリオ」検討ワークショップ



■ ブレストにより記述された付箋を地域のWell-Being指標の因子ごとにグルーピング

F1_ダイナミズムと誇り

- 芸術・美術が楽しめる場所がたくさんある。
- 町に変化がある（イベント・新規開店など）
- 市外に住んでいる友人を呼びたくなる。そして友人が来てくれる。
- 同じ趣味の仲間が見つかる。
- 事業者が元気があがる
- アートに関わる機会がある
- 読書に適した場所がある。
- おまつりが栄えている
- イベントが多い

F2_生活の利便性

- 宿泊施設が増えれば良い
- コンビニが近いある
- 程よい都会で程よい田舎
- おしゃれなお店が増えた
- 商業施設が困らない程度にほどよくある
- 水道水が飲める
- F4_自然の体感
 - 自然が多く子育てに最適！！
 - 海や山にすぐ行ける
 - お魚がおいしい！！

F8_過干渉と不寛容

- 近所づきあいをしない
- 一人になれる。知り合いに会わない場所がある。

F9_地域との相性

- 本人が地域になじめる

F5_居住空間の快適さ

- 野外焼却が減れば良い
- 自宅でゆっくり過ごせる。
- 有害鳥獣対策が進めば良い
- 家をもちやすい
- 庭が持てる

仕事につきやすい

子育てしやすい

子どもが遊べる場所がある

F6_つながりと感謝

- 気軽にサク飯に誘える友人がいる
- 夜にノンアルで楽しめる・集まれる場がある。
- ご近所でとれた野菜や果物がたくさん届く
- 困りごとのSOSがある。きける場所がある。
- 人との出あいがある。

三豊版Well-Being指標の設計



- 市職員向けアンケートやワークショップの結果を踏まえ、LWC指標「地域生活のWell-Being指標」の80以上の質問項目から、地域にとって重要な因子に関連する質問項目を抽出(A)
- ベーシックインフラ整備事業の成果を測るため、独自の質問項目を追加(B)

〈三豊版Well-Being関連設問〉 ※一部抜粋（設問数全44問）

		項目数	因子名称(仮)	(A) 三豊
F1	Q3_64 暮らしている地域は、文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい	20	ダイニズムと誇り	<input type="radio"/>
	Q3_65 暮らしている地域には、誇らしいランドマークや観光名所がある			<input type="radio"/>
	Q3_88 暮らしている地域には、おしゃれで洗練されたお店がある			<input type="radio"/>
	Q3_89 この地域に暮らしていると、流行の先端に触れられる			<input type="radio"/>
	Q3_68 暮らしている地域では、新たな発見や刺激が得られる			<input type="radio"/>
	Q3_70 暮らしている地域は、躍動感がある			<input type="radio"/>
	Q3_87 暮らしている地域は、国際的だと感じる			<input type="radio"/>
	Q3_78 暮らしている地域には、楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある			<input type="radio"/>
	Q3_63 暮らしている地域には、地域ならではの美味しい食べ物・飲み物がある			<input type="radio"/>
	Q3_80 暮らしている地域では、ワクワクするようなイベントやお祭りがある			<input type="radio"/>
	Q3_69 暮らしている地域には、新たな事に挑戦・成長するための機会がある			<input type="radio"/>
	Q3_62 暮らしている地域には、誇らしい地場産業やスポーツチームがある			<input type="radio"/>
	Q3_60 暮らしている地域には、誇らしい歴史・伝統がある			<input type="radio"/>
	Q3_74 暮らしている地域には、お気に入りのおいしい飲食店やカフェなどがある			<input type="radio"/>
	Q3_67 暮らしている地域では、街の成長・発展が感じられる			<input type="radio"/>
	Q3_77 暮らしている地域には、豊かな時間をすごせる文化・芸術施設（図書館・劇場など）がある			<input type="radio"/>
	Q3_52 自宅の近辺は、活気がある			<input type="radio"/>
	Q3_10 この地域に暮らしている限り、将来の収入は現在よりも増えると思う			<input type="radio"/>
Q3_18 暮らしている地域には、自宅以外に一人でくつろげる場所がある	<input type="radio"/>			
Q3_23 暮らしている地域において、自分の能力（知識・技能）を生かしている	<input type="radio"/>			
F2	Q3_82 暮らしている地域は、金融機関や郵便局などが身近にあり便利である	14	生活の利便性	<input type="radio"/>
	Q3_81 暮らしている地域は、日常の買い物にまったく不便がない			<input type="radio"/>
	Q3_84 暮らしている地域は、医療機関が充実している			<input type="radio"/>
	Q3_100 暮らしている地域は、教育環境（幼保小中高校）が整っている			<input type="radio"/>
	Q3_101 暮らしている地域では、学習塾や習い事教室が充実している			<input type="radio"/>
	Q3_75 暮らしている地域には、買い物を楽しむことができる商店街や商業施設がある			<input type="radio"/>
	Q3_108 日々通う施設は、自宅から近くて楽である（通勤・通学・通院など）			<input type="radio"/>
	Q3_109 暮らしている地域は、離れた他の大都市への移動がしやすい			<input type="radio"/>
	Q3_122 暮らしている地域は、歩道や信号が整備されていて安心である			<input type="radio"/>
	Q3_107 暮らしている地域は、最寄りの駅や高速道路のICが近く出かけるのが楽である			<input type="radio"/>
	Q3_115 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である			<input type="radio"/>
	Q3_104 暮らしている地域は、大抵のことは徒歩で事足りる			<input type="radio"/>
	Q3_117 暮らしている地域の公園や広場は、きれいに整備されている			<input type="radio"/>
	Q3_118 暮らしている地域の小道や緑道は、きれいに整備されている			<input type="radio"/>
(B) 三豊独自項目:交通事情(道路や駐車場)がよく、車での移動がしやすい			<input type="radio"/>	
三豊独自項目:公共交通機関(電車・バス・タクシー等)を用いた移動がしやすい			<input type="radio"/>	

市民向けアンケートの実施



■市民約300名を対象に、三豊版Well-Being指標をもとに作成したアンケートを実施

〈市民向けアンケート集計結果〉 ※暫定版、一部抜粋

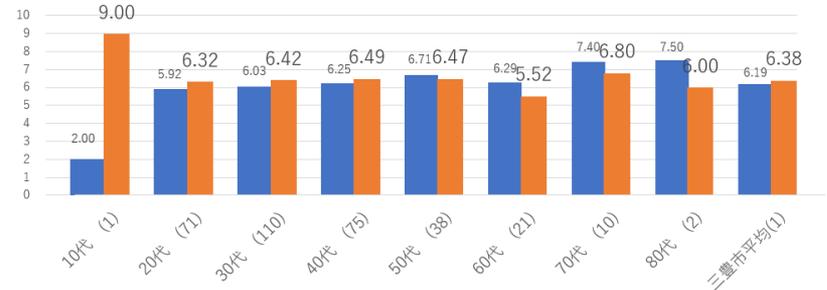
三豊市(全項目)と全国平均比較

—●— 三豊回答(全項目)平均 —●— 全国(3項目)平均



現在の生活と5年後の将来の生活への期待

■ 現在の生活に対する評価 ■ 5年後の生活に対する期待



- ✓ 全般的に全国平均や香川県平均値よりも良好な因子が多い傾向
- ✓ つながりや自然の評価が高いが、生活ルールの無秩序さも高い
(=つながりが濃い一方、一部ごみ出しルールなどのマナー面が課題となっている)

- ✓ 若い世代ほど将来への期待が高く、50代以上はやや低くなる傾向

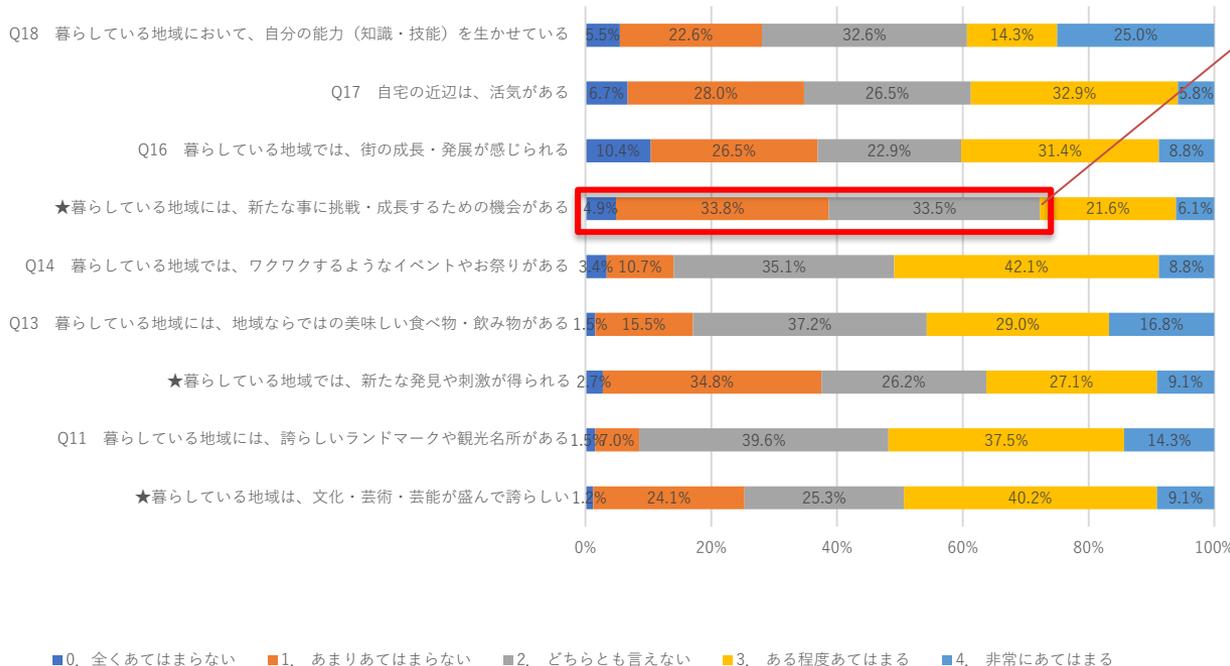
市民向けアンケートの実施



■ アンケートの結果と環境因子との突合により市の課題を具体化

三豊市(全項目)とF1.ダイナミズムと誇り (抜粋) ※暫定版

★=短縮版3項目



分析

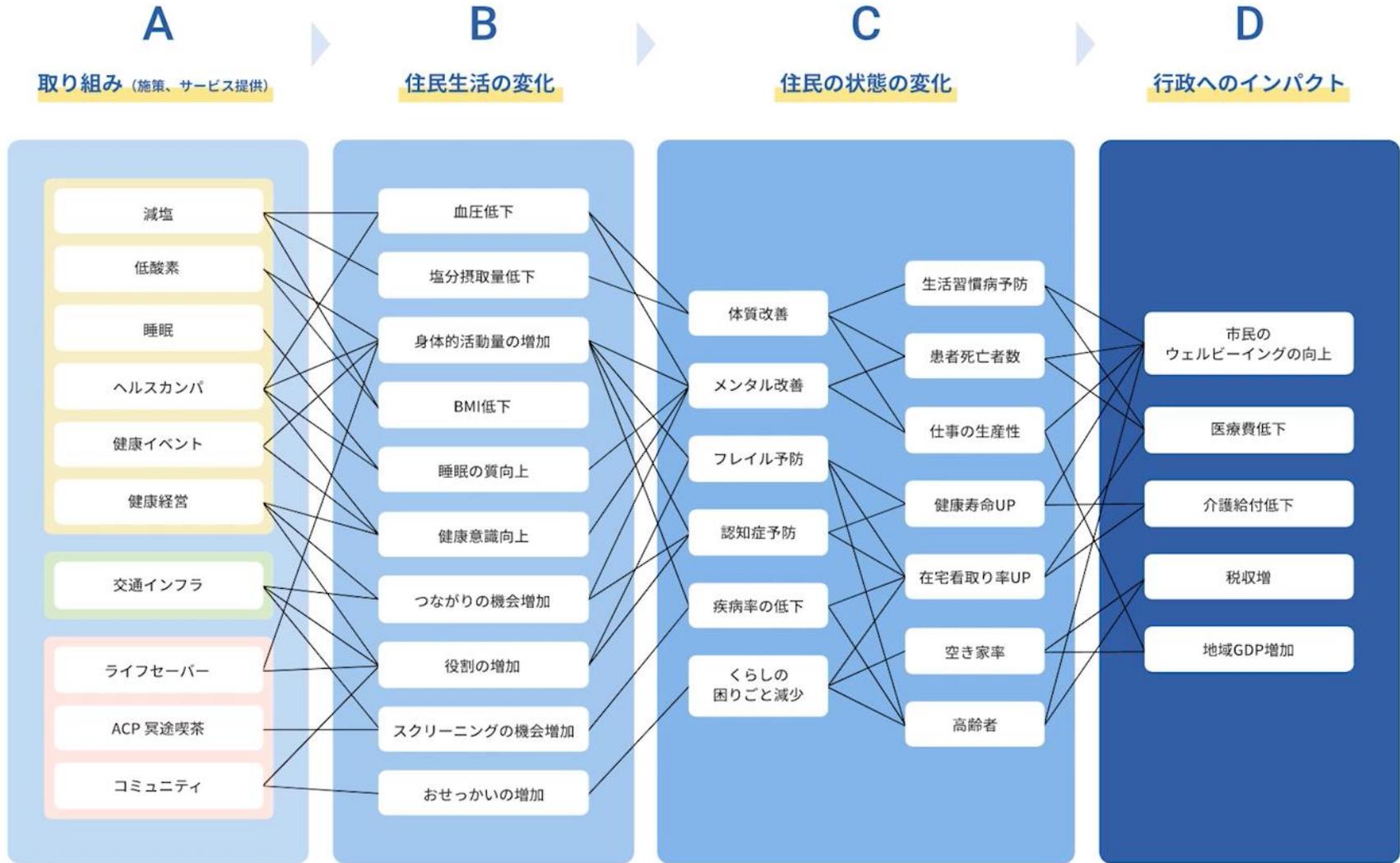
「暮らしている地域には、新たな事に挑戦・成長するための機会がある」という項目はあてはまらないorどちらとも言えないという方が72%ほど。

これは、市内では様々な新規事業が注目されている一方、事業創造の数が他市と差が出るほどではないこと、また、有効求人倍率が高い（地域で自分がやりたい仕事を見つけにくい）ということとも合致するため、広域的・横断的な事業創造に関する政策展開（ベーシックインフラ事業の拡大、データ連携基盤の活用、等）が求められる。

Well-Being向上のための三豊市の取り組み 管理・計測



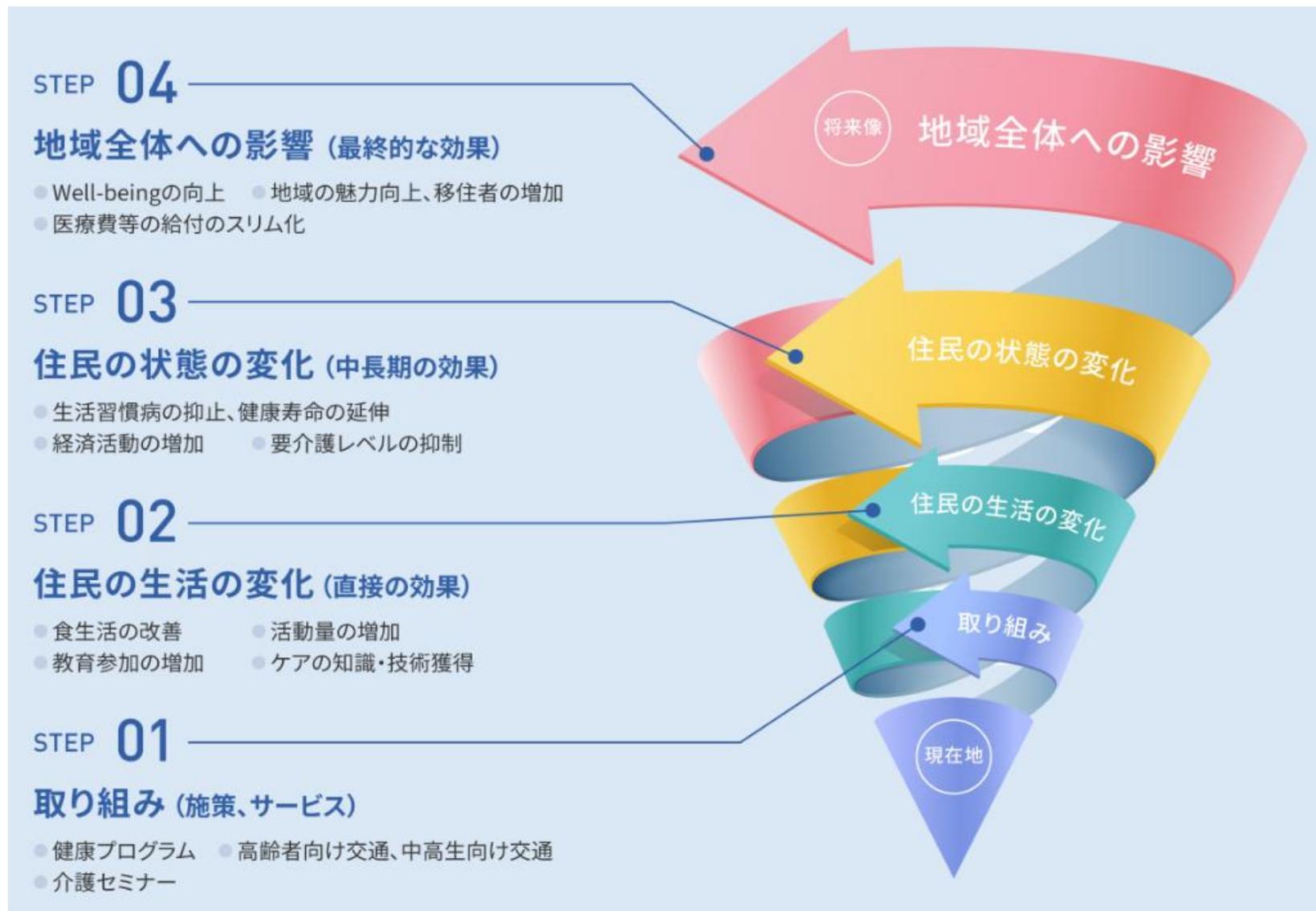
ロジックツリーを作成し、市民のWell-being向上のために必要な「**取組み**」と「**効果**」を**可視化**



Well-Being向上のための三豊市の取り組み 管理・計測



市民が理解しやすいように、取り組みによる効果をイメージ化



Well-Being向上のための三豊市の取り組み 管理・計測



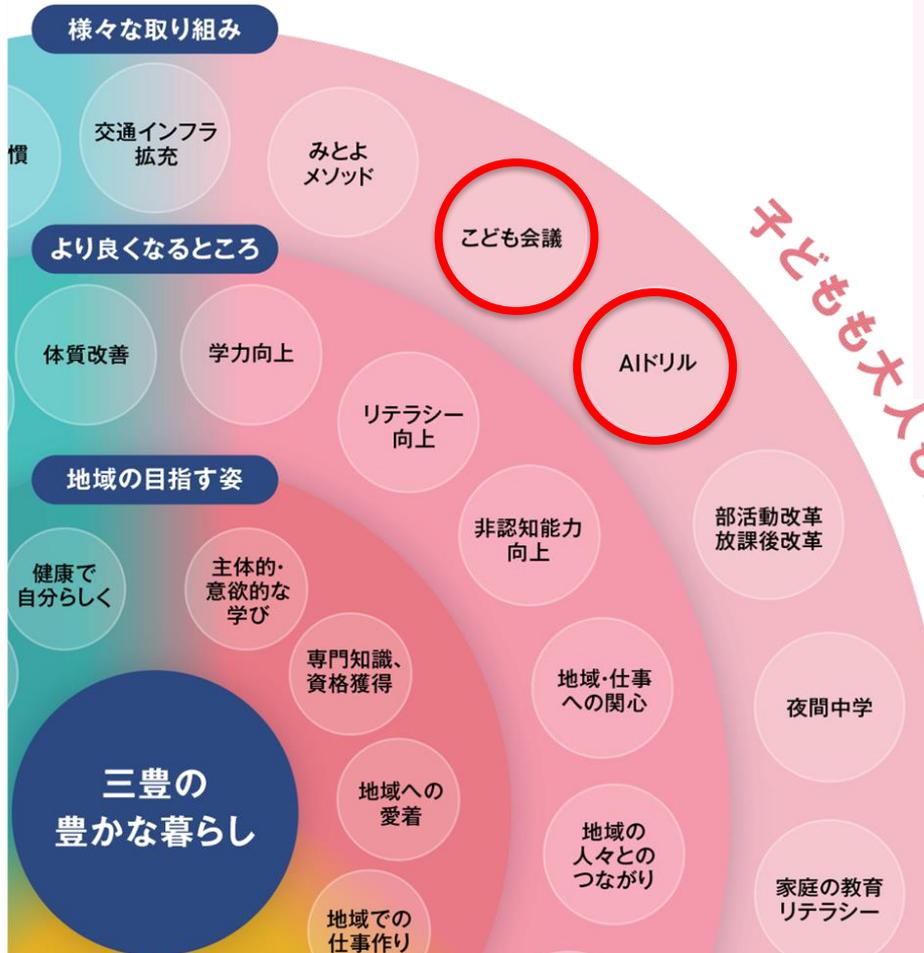
市民や企業が、三豊の目指す「将来のありたい姿」と、それを実現する取組みを確認できる
三豊未来マップを作成



Well-Being向上のための三豊市の取り組み 管理・計測



「三豊の目指す姿」の実現に向けて行う「取り組み」と、「改善ポイント」を可視化
様々な取り組みによるソーシャルインパクトを、管理・計測・開示できる仕組みを構築



子どもも大人も皆が意欲的に学ぶ
探究 共創

「小さな賢者たちの」
世界一おかしくて、世界一だいじな会議

こどもかいぎ IN 三豊

「こどもかいぎ」って？
子どもたちが輪になって自由に話し合うこと

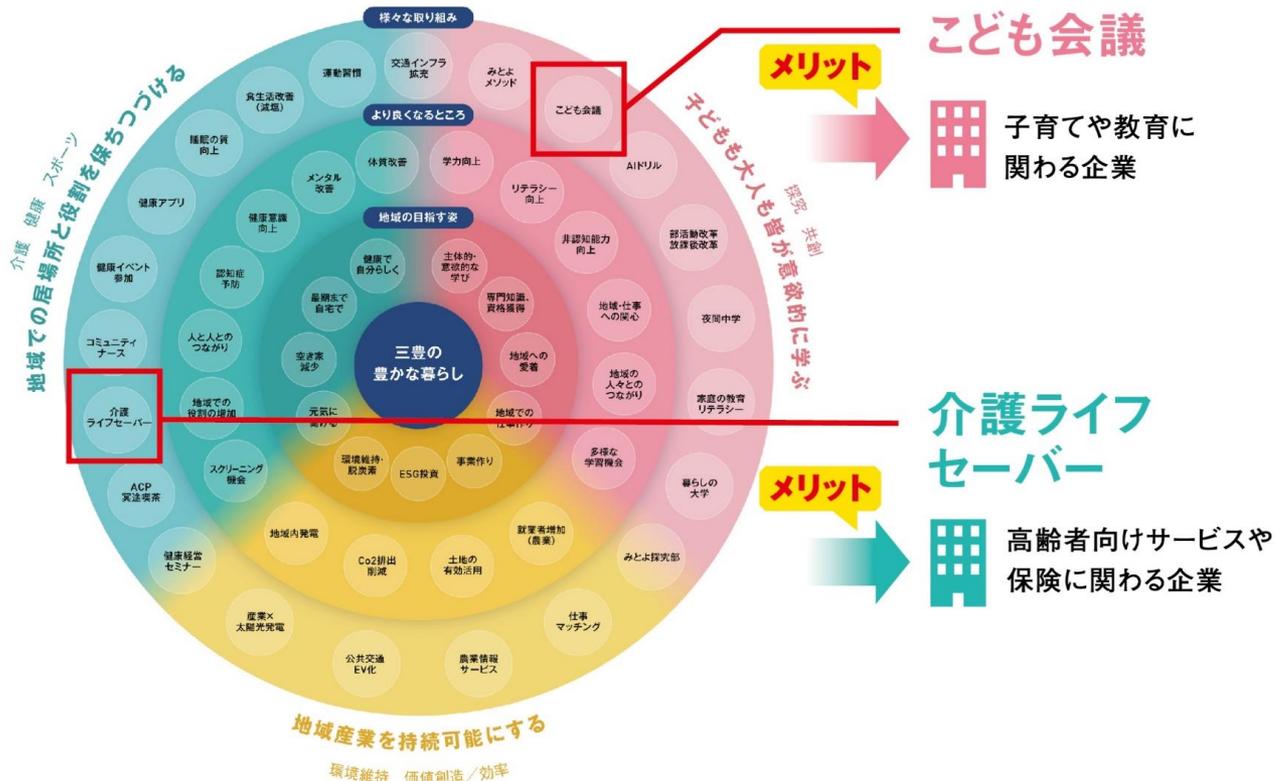


Well-Being向上のための三豊市の取り組み 資金調達



企業が地域に投資・事業参画しやすい仕組みを構築する

- ✓ 貴社にとっては、新しいサービスや技術を共創によるR&Dの場として
- ✓ 三豊市民にとっては、豊かな暮らしの向上を共助で生み出すために



取り組みが実際に
もたらした効果を、
データ・レポートとして
提供します